

横須賀市中小企業景況レポート

第 27 号 (令和元年 7 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町 11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：164社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査147社）
- ③ 調査期間：前期・・・平成31年1～3月の景況感（調査時点 平成31年3月1日）
今期・・・平成31年4～令和元年6月の景況感（調査時点 令和元年6月1日）
次期・・・令和元年7～9月の景況感（調査時点 // ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

*DI値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期のDI値を記載

全業種の景況感は、前期の6Pから14P悪化し、【△8P】となりました。

今期は、卸・小売業【△24P】、サービス業【△15P】が、それぞれ12P、33Pと大きく悪化しています。

次期については、卸・小売業、不動産業で大幅な改善が見込まれていますが、他業種は、概ね横這いの見込みです。

全業種の項目別でみると、雇用人員は、依然として厳しい状況が続いています。

昨年同期（平成30年4月～6月）の景況感比較は、「変わらない」が半数以上を占めています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P 以上)	やや良い (6 P~14P)	変わらない (△ 5 P~5 P)	やや悪い (△ 6 P~△14P)	悪い (△15P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期の DI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【 △ 3 P <変わらない> → 】 (前期比△16P)

景況感に併せて、売上額【△ 8 P】、収益【△11P】が、それぞれ 21P、24P と大幅な悪化となりました。

次期は、若干の回復が見込まれますが、全ての項目で横這いの傾向です。

☆事業者の主な声☆

- ・当面、多忙な状況が続くが、原材料の値上がりが続いており、今後の収益に響くと予想している。
- ・公共工事の受注が多いため、堅調に維持できているが、受注単価の引き下げ依頼が続き、利益確保は厳しい状況を余儀なくされている。
- ・今後、売上増加の見込みもあるが、引き続き外注費等の経費削減を念頭に置き、利益を計上することに努める。


(2) 建設業 景況感 【 9 P <やや良い> ↗ 】 (前期比△ 3 P)

売上額【22P】が 13P の改善となりましたが、収益【△ 3 P】は、12P 悪化しています。

次期は、資金繰りに若干回復が見込まれますが、売上額が悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・営業活動の成果により、大型受注に成功した。増税前の駆け込み受注による更なる売上増を見込んでいる。
- ・公共事業の受注は、利益を薄くしても入札する競合相手が多く、下請け受注しても利益が出ない状態が続いている。立場上、価格交渉も難しいため、消費税増税分を価格に転換できないと、ますます厳しい状況が予想される。
- ・横須賀地区は受注が少なく、横浜・東京がメインとなっており、工期や人員面で受注を選別している状況である。

(3) 卸・小売業 景況感 【 $\Delta 24P$ <悪い>  】 (前期比 $\Delta 12P$)

全ての項目で横這いですが、雇用人員は、厳しい状況が続いています。

次期は、売上額が 19P の改善の見込みですが、他の項目は、横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・消費増税前の各種セールを計画しているが、現在の景気から見て、大きな期待はできそうにない。
- ・近隣商店街への来客数の減少や常連客の高齢化の影響で、店頭売上は頭打ちの状況。近隣介護施設への配達により、店頭売上の減少分をカバーしている。
- ・キャッシュレス決済の導入を検討するも、決済手数料を販売価格に転嫁することが困難であることから実現には至っていない。

(4) 不動産業 景況感 【 7P <やや良い>  】 (前期比7P)

売上額【7P】、収益【7P】、資金繰り【0P】は、それぞれ41P、24P、17Pの大幅な改善となりました。

次期は、売上額、収益の更なる改善が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・注文住宅の受注やリフォーム件数の増加が、売上増加の大きな要因である。消費増税に対する意識が高まっており、駆け込み需要が増加する見込みである。
- ・横須賀市が低調の中、横浜市を中心に小規模物件を取り扱っている一方で、収益物件も保有し業況は安定している。
- ・横須賀市内における住宅事情の低迷から、物件の選定は、市内だけでは難しく、市外の物件も積極的に購入していくつもりである。

(5) サービス業 景況感 【 $\Delta 15P$ <悪い>  】 (前期比 $\Delta 33P$)

景況感に併せて、全ての項目で悪化しました。

特に、売上額【 $\Delta 3P$ 】、資金繰り【 $\Delta 13P$ 】は、それぞれ18P、10Pの悪化となりました。

次期については、横這い傾向が見込まれますが、売上額と収益が若干悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・参議院選挙や消費増税で経済対策を取り入れても、駆け込みで先行需要が多くなるため、その後の景気への影響が懸念される。
- ・昨年の業況が良すぎたので、売上額・収益・雇用・資金繰りは、昨年同期と比べて悪化した。今後、法律・条例などが変わり、先行き不安である。
- ・外国人労働者のために、文化・言葉・生活の面（公共交通機関の使い方等）の訓練をする場を作ったら良いと思う。

DI 値 調査結果

前・・・前期 平成31年1～3月の景況感（調査時点 平成31年3月1日）
 今・・・今期 平成31年4～令和元年6月の景況感（調査時点 令和元年6月1日）
 次・・・次期 令和元年7～9月の景況感（調査時点 令和元年6月1日）



業種別調査企業数(回答数)

(単位:社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	159	38	33	41	12	35
今期	164	38	32	42	14	38
次期	164	38	32	42	14	38

(単位:ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	26	14	19	29	18	21	33	25	22	20	7	19	17	7	36	29	11	8
変わらず	54	64	63	55	61	61	46	59	59	48	62	62	66	93	64	60	63	71
悪い(B)	20	22	18	16	21	18	21	16	19	32	31	19	17	0	0	11	26	21
DI値(A)-(B)	6	△8	1	13	△3	3	12	9	3	△12	△24	0	0	7	36	18	△15	△13
今-前/次-今	△14	9		△16	6		△3	△6		△12	24		7	29		△33	2	
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	23	20	20	29	21	18	33	38	28	10	10	21	8	14	29	29	18	11
変わらず	54	57	60	55	50	58	43	46	53	58	61	58	50	79	64	57	61	71
悪化(B)	23	23	20	16	29	24	24	16	19	32	29	21	42	7	7	14	21	18
DI値(A)-(B)	0	△3	0	13	△8	△6	9	22	9	△22	△19	0	△34	7	22	15	△3	△7
今-前/次-今	△3	3		△21	2		13	△13		3	19		41	15		△18	△4	
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	22	17	16	26	21	18	30	25	25	17	12	12	8	14	29	20	13	8
変わらず	55	59	63	61	47	56	49	47	50	49	62	69	67	79	64	60	69	71
減少(B)	23	24	21	13	32	26	21	28	25	34	26	19	25	7	7	20	18	21
DI値(A)-(B)	△1	△7	△5	13	△11	△8	9	△3	0	△17	△14	△7	△17	7	22	0	△5	△13
今-前/次-今	△6	2		△24	3		△12	3		3	7		24	15		△5	△8	
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	5	3	2	5	5	3	6	3	3	2	0	0	0	0	0	9	5	5
適正	55	60	61	42	50	58	49	56	56	64	67	64	75	86	86	57	56	56
少ない(B)	40	37	37	53	45	39	45	41	41	34	33	36	25	14	14	34	39	39
DI値(A)-(B)	△35	△34	△35	△48	△40	△36	△39	△38	△38	△32	△33	△36	△25	△14	△14	△25	△34	△34
今-前/次-今	1	△1		8	4		1	0		△1	△3		11	0		△9	0	
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	14	10	11	13	21	16	12	9	13	15	7	12	0	0	7	20	8	5
支障がない	62	72	71	74	68	73	52	63	62	58	74	62	83	100	93	57	71	77
苦しい(B)	24	18	18	13	11	11	36	28	25	27	19	26	17	0	0	23	21	18
DI値(A)-(B)	△10	△8	△7	0	10	5	△24	△19	△12	△12	△12	△14	△17	0	7	△3	△13	△13
今-前/次-今	2	1		10	△5		5	7		0	△2		17	7		△10	0	

<参考>昨年同期と現在の景況感比較(回答143社)

	企業数	今期構成比	(参考)前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	21社	15%	16%
昨年と比べ「景況感」は変わらない	93社	65%	66%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	29社	20%	18%
DI値(A)-(B)		△5P	△2P

